

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称	: PP(デプス)プリーツカートリッジ フィルター TCP-(LX, JX, HX, FX, 003AM, 005AM, 010AM, 015AM, 1, 3, 7, 10, 30)-(S, D, T, Q)1(M, R, P)F
供給者の会社名称, 住所及び電話番号	
会社名称	: アドバンテック東洋株式会社 東洋濾紙株式会社
住所	: 東京都千代田区内幸町2-2-3 日比谷国際ビル5階
電話番号	: 03-5521-2160
推奨用途	: 液体の濾過、気体の濾過
使用上の制限	: 上記以外の用途にご使用される場合は、 事前にご相談ください。 また、有機溶剤の濾過にご使用の際は、帯電防 止対策のため、ステンレスハウジングを使用 し、アースをとってください。

2. 危険有害性の要約

化学品のGHS分類	
物理化学的危険性	: 区分に該当しない。
健康有害性	: 区分に該当しない。
環境有害性	: 区分に該当しない。
GHSラベル要素	: なし。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別	: 混合物
化学名又は一般名	: PP(デプス)プリーツカートリッジフィルター
成分及び濃度又は濃度範囲	: ポリプロピレン(フィルター、サポートメ ディア、コア、プロテクター、エンドキャ ップ、ブラインドキャップ、フィン) (CAS No.9003-07-0) (CAS No.9010-79-1) フッ素ゴム(O-リング芯材) 四フッ化エチレン・六フッ化プロピレン共 重合体(O-リング被覆) (CAS No.25067-11-2)
官報公示整理番号	
化審法	: (6)-402 ポリプロピレン (6)-10 ポリプロピレン
安衛法	: 該当しない。

4. 応急措置

吸入した場合	: 熱分解により発生するガスの吸引は、一次的にインフルエンザに似た症状を示す。 症状は頭痛、関節の痛み、一般的不快感、発熱、咳、悪寒、心悸亢進および胸部不快感を生じる。医師の診察を受ける。(四フッ化エチレン・六フッ化プロピレン共重合体)
皮膚に付着した場合	: 該当しない。
眼に入った場合	: 該当しない。
飲み込んだ場合	: 該当しない。

5. 火災時の措置

適切な消火剤	: 水（噴霧）、粉末消火剤、泡消火剤、二酸化炭素消火剤、ハロゲン化消火剤など。
使ってはならない消火剤	: データなし。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項, 保護具及び緊急時措置	: データなし。
環境に対する注意事項	: データなし。
封じ込め及び浄化の方法及び機材	: データなし。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	: 火気のそばでの取扱いに注意する。
保管	: 変質を防止するため、直射日光、紫外線、水濡れ、高温、低温、高湿、屋外保管を避けると共に、強酸、強アルカリとの接触を避ける。 高温にさらされた場合は有毒ガスを発生する虞があるため、熱源への曝露、接触を避ける。 アルカリ金属、アルミニウム、マグネシウムのような金属との接触を避ける。(四フッ化エチレン・六フッ化プロピレン共重合体) 3,000kg 以上の保存時には、消防法(指定可燃物：合成樹脂類)の適用を受ける。

8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度	日本産業衛生学会	: データなし。
	ACGIH	: データなし。
設備対策		: 必要に応じて講じる。
保護具		: 必要に応じて使用する。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態	: 固体、筒状のフィルター。
色	: 白色。
臭い	: なし。
融点/凝固点	: データなし。
沸点又は初留点及び沸点範囲	: データなし。
可燃性	: あり。
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界	: 該当しない。
引火点	: 該当しない。
自然発火点	: 該当しない。
分解温度	: 該当しない。
pH	: データなし。
動粘性率	: 該当しない。
溶解度	: 水に不溶。
n-オクタノール/水分配係数	: データなし。
蒸気圧	: データなし。
密度又は相対密度	: データなし。
相対ガス密度	: 該当しない。
粒子特性	: データなし。

10. 安定性及び反応性

反応性	: 通常の実扱い条件では安定。
化学的安定性	: 通常の実扱い条件では安定。
危険有害反応可能性	: 260℃以上で極めてゆっくりだが分解を始める。 400℃以上では分解速度が速くなる。 熱分解より生成が始まる可能性のある温度レベルと分解生成成分。 テトラフルオロエチレン $\geq 430^{\circ}\text{C}$ ヘキサフルオロプロピレン $\geq 440^{\circ}\text{C}$ パーフルオロイソブチレン $\geq 475^{\circ}\text{C}$ カルボニルフロライド $\geq 500^{\circ}\text{C}$ (四フッ化エチレン・六フッ化プロピレン共重合体)
避けるべき条件	: 熱源への曝露、強酸、強アルカリとの接触を避ける。
混触危険物質	: データなし。
危険有害な分解生成物	: テトラフルオロエチレン、ヘキサフルオロプロピレン、パーフルオロイソブチレン、カルボニルフロライドなど。

11. 有害性情報

急性毒性	
経口	: 区分に該当しない。
経皮	: データ不足のため分類できない。
吸入：ガス	: データ不足のため分類できない。
吸入：蒸気	: データ不足のため分類できない。
吸入：粉塵、ミスト	: データ不足のため分類できない。

皮膚腐食性／刺激性	：	データ不足のため分類できない。
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	：	データ不足のため分類できない。
呼吸器感作性又は皮膚感作性	：	データ不足のため分類できない。
生殖細胞変異原性	：	データ不足のため分類できない。
発がん性	：	データ不足のため分類できない。
(成分として)		
IARCグループ3(人に対する発がん性は評価できない)に分類されるが、データ不足のため分類できない。		
(ポリプロピレン)		
生殖毒性	：	データ不足のため分類できない。
特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	：	データ不足のため分類できない。
特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	：	データ不足のため分類できない。
誤えん有害性	：	データ不足のため分類できない。

1 2. 環境影響情報

生態毒性		
水生環境有害性	短期（急性）	： データ不足のため分類できない。
水生環境有害性	長期（慢性）	： データ不足のため分類できない。
残留性・分解性		： データなし。
生体蓄積性		： データなし。
土壌中の移動性		： データなし。
オゾン層への有害性		： データ不足のため分類できない。

1 3. 廃棄上の注意

該当法規に従い、廃棄物として処理する（国、都道府県ならびに地方自治体の法規、条例に従う）。

一般産業廃棄物と同様に、都道府県知事が許可した産業廃棄物処理業者もしくは、地方公共団体がその処理を行っている場合には、その団体に委託して処理する。

焼却処分するときは、管理された焼却設備を用いて、大気汚染防止法、廃掃法、水質汚濁防止法等に沿って処理する（廃棄時には、産業廃棄物として処理することをおすすめいたします）。

1 4. 輸送上の注意

国内規制がある場合の規制情報	：	消防法における指定可燃物に該当する。
----------------	---	--------------------

1 5. 適用法令

化審法	：	既存化学物質 (6)-402 ポリプロピレン (6)-10 ポリプロピレン
安衛法	：	該当しない。
化管法	：	該当しない。
毒劇法	：	該当しない。
消防法	：	第九条の四(指定数量未満の危険物等の貯蔵又は取扱いの基準)、危険物の規制に関する政令第一条の十二、別表第四指定可燃物(合成樹脂類。3,000kg 以上は消防法の

適用を受ける。3,000kg 未満の場合、物品
の貯蔵および取扱いの技術上の基準は市
町村条例で定める。

1 6. その他の情報

記載内容の取扱い

本データシートの記載内容は、現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて
作成しており、新しい知見により改訂されることがあります。

また、含有量、物理・化学的性質、危険・有害性等に関しては、いかなる保証をな
すものではなく、注意事項は、通常の手扱いを対象としたものですので、特殊な取扱
いの場合には、用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用ください。

ご需要家各位は本シートを参考にして、自らの責任において、個々取扱い等の実態
に応じた適切な措置をお取りくださいますよう、お願いいたします。

参考文献

- ・ G H S に基づく化学品の分類方法 (JIS Z 7252:2019)
- ・ G H S に基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法ーラベル, 作業場内の表示及び
安全データシート (S D S) (JIS Z 7253:2019)